

2023 年度一般会計予算 主な子ども・子育て支援事業の概要

地方創生事業以外

No. 6	事業名	子ども医療費無料化の拡大 (4歳～小学3年生無料化)	2023 年度 予算額	133,530 (18,154)	千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------------	-------------------	---------------------	----	----------------

1 事業目的（趣旨）

子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることを目的に、2022年7月から実施している0歳児から3歳児（4歳の誕生日の属する月の月末まで）の医療費の無料化について、2023年7月からは対象を小学3年生まで拡大する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

現行の0歳児から3歳児に加え、4歳児から小学3年生の医療費についても、所得制限を設けず自己負担を無料にする。

(2) 事業期間

2023年7月1日～2026年6月30日診療分

(3) 事業主体

豊岡市

3 2023年度予算

(1) 予算額

乳幼児等医療費助成事業全体 133,530千円

うち0歳児から3歳児の無料化に係る助成額（市単独助成） 17,009千円

4歳児から小学3年生の無料化に係る助成額（市単独助成） 18,154千円
（7月～2月診療分）

(2) 事業内容

対象人数（2022年12月末時点）

2022年度乳幼児等医療費助成制度 認定者	0～3歳児	1,697人
	4歳児～小学3年生	3,004人
合 計		4,701人

担当課名【市民課】（内線 2251）

施策体系番号 1-2-7-2

No.10 事業名 妊婦健診助成額の増額	2023 年度 予算額	37,825 (4,000) 千円	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 継続
----------------------	-------------------	----------------------	--

1 事業目的（趣旨）

妊婦健診は、妊婦や赤ちゃんの健康状態を定期的に見るためのもので、安心して出産ができる環境を整えるために必要な健診となっている。

出産予定日までの標準的な健診回数は14回で特に初回健診は検査項目も多く、2回目以降の健診に比べ費用負担が多いことから、経済的な負担を軽減するため、初回健診の助成額を増額する。

2 2023年度予算

(1) 内 容

初回健診の助成上限額を15,000円から23,000円（8,000円増）に増額する。

$500 \text{人} \times 8,000 \text{円} = 4,000 \text{千円}$ （拡大分）

初回上限助成額：23,000円

2～14回目助成額：5,000円

(2) 事業期間

2023年4月～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 予算額

37,825千円（うち拡大分4,000千円）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 4-1-1-3

No.11	事業名	特定不妊治療費の助成	2023 年度 予算額	10,375 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2022年4月1日から治療費の保険適用開始によって国制度による県の助成が終了した特定不妊治療（生殖補助医療である体外受精や顕微授精等）費について、市単独で助成を実施し、安心して不妊治療に向かう経済的環境を整える。

2 2023 年度予算

(1) 内 容

2022年4月1日以降に治療を開始した特定不妊治療について、保険適用分、保険適用と併用可能な先進医療分、及び保険適用外診療分を治療区分ごとに助成する。

			助成上限額	
			保険分または 保険＋先進医療分	保険適用外診療分
治療 区分	A	新鮮胚移植を実施	自己負担額の1/2 または5万円	自己負担額の1/2 または上限30万円
	B	凍結胚移植を実施		
	C	以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施（男性は対象外）	自己負担額の1/2 または2万5千円	自己負担額の1/2 または10万円
	D	体調不良等により、移植のめどが立たず治療終了	自己負担額の1/2 または5万円	自己負担額の1/2 または上限30万円
	E	受精できず、又は胚の分割停止、変性、多精子授精などの異常授精等により中止		
	F	採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止	自己負担額の1/2 または2万5千円	自己負担額の1/2 または10万円
男性不妊治療		特定不妊治療の一環として行った場合（精子を精巣または精巣上体から採取するための治療。治療区分Cを除く）は治療区分ごとに夫婦の治療費として合算し助成額を算出する。		

(2) 事業期間

2022年4月～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 予算額

10,375 千円

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 4-1-1-3

No.12	事業名	出産・子育て応援給付金	2023 年度 予算額	24,603 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援のため、給付金を支給する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

2023年10月以降に妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦等に対し、出産応援給付金・子育て応援給付金を支給する。

(2) 事業期間

2023年10月～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

伴走型相談支援（国庫補助金 1/2、県費補助金 1/4、市負担金 1/4）

経済的支援（国庫補助金 2/3、県費補助金 1/6、市負担金 1/6）

3 2023年度予算

(1) 予算額

24,603 千円

(2) 事業内容

出産応援給付金・子育て応援給付金の支給。

ア 出産応援給付金

- ・2023年10月以降に妊娠の届出をした妊婦に対し、面談後、妊娠1回につき5万円を振込により支給する。

- ・対象者は、約240人。

イ 子育て応援給付金

- ・2023年10月以降に出生の届出をした児童の養育者に対し、面談後、児童1人につき5万円を振込により支給する。

- ・対象者は、約250人。

4 その他参考事項

2023年4～9月分までは、2022年度繰越予算で対応。

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

施策体系番号 4-1-1-3

No.39	事業名	給食等の食材料費価格高騰分の公費負担	2023 年度 予算額	24,798 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

原油価格や物価高騰の影響を受けている公立小中学校、保育所・認定こども園等の給食提供にかかる食材料費について、保護者への負担増を抑制するため、昨年度に引き続き、食材料費の一部を支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 事業内容

保護者への負担増を回避し、これまで通りの栄養バランスや質を保った給食が提供できるよう、給食材料費の物価上昇分6%相当を公費負担又は補助する。

イ 対象施設

豊岡給食センター（小学校7校、中学校5校）

日高給食センター（小学校6校、中学校2校）

出石給食センター（小学校10校、中学校2校）

保育所等 30 施設

- ・公立保育所、認定こども園6施設
- ・私立保育所、認定こども園、小規模保育事業21施設
- ・認可外保育施設（給食を提供している施設のみ）3施設

ウ 対象者数

小学校 4,288 人分 延べ 784,704 食

中学校 2,434 人分 延べ 413,838 食

保育所等 2,570 人分 延べ 655,350 食

(2) 事業期間

2023年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

24,798千円

公立小中学校等 16,409 千円

保育所等 8,389 千円



担当課名【教育総務課】（内線2701）

【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-3-1、4-1-1-5

No.40	事業名	園児送迎用バスへの安全装置の設置	2023 年度 予算額	2,340 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2022年9月に起きた、送迎用バスへの園児置き去り死亡事案を受け、国が全国の就学前施設等へ緊急点検を行った結果、登校園の送迎用バス利用時において、点呼や事故防止対策を行っていない事案が一部確認された。

このことを受け、国は「こどものバス送迎・安全徹底プラン」を策定。同プランを踏まえ、本市で今後同様の事故を防止するため、送迎用バスを利用する市内認定こども園において、こどもの安全対策の促進を図る。

2 2023年度予算

(1) 内 容

ア 事業内容

送迎用バスでの園児置き去りを防止するための安全装置を導入する。

イ 対象施設・車両

認定こども園 13台

（港認定こども園、竹野認定こども園、合橋認定こども園、こうのとり認定こども園、きよたき認定こども園）

(2) 事業期間

2023年度

(3) 事業主体

豊岡市及び社会福祉法人等

(4) 予算額（補助率・負担率等）

2,340千円（国10/10）

担当課名【こども育成課】（内線2531）

施策体系番号 4-1-1-5

No.41	事業名 私立認定こども園の整備	2023 年度 予算額	206,094 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に基づき、保育所から認定こども園へ移行する法人に対し、施設整備費補助金を交付する。

園児数の少ない公立幼稚園を閉園し、その受け入れ先として、私立認定こども園を整備することで、適正規模の子ども集団を確保し、子ども同士が共に遊び、育ち合い、学び合える環境を整える。併せて、利用定員を拡大し、待機児童の解消を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

蓼川保育園の増築・改修工事等を行い、日高幼稚園を統合して私立認定こども園に移行する。保育所から認定こども園へ移行するために必要な施設整備費の3/4を補助する。

(2) 事業期間

2022年度～2023年度 施設整備

2024年4月 認定こども園開園

(3) 事業主体

社会福祉法人 蓼川福社会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

289,786千円

就学前教育・保育施設整備交付金（交付基準額の1/2又は2/3）

合併特例債

3 2023年度予算

206,094千円



(仮称)蓼川こども園

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-5